

# 行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	2	心豊かな子どもを育てよう			
取組分野	1	小中学校教育			
施策主管部局	教育部				
担当課	学校教育課		学校給食センター		

## 1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
「学校は楽しい」と思う児童生徒の割合 (上段:小学校、下段:中学校)	91.5%	93.2%	92.8%	93%	94%	96%	98%
	87.6%	89.1%	88.4%	90%	91%	92%	93%

## 2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

### (1) 教育環境の整備

昨年度実施結果	課題
給食費を無償化し、私立等に通う児童生徒についても給食支援金を給付した。市内全体の学校ネットワークシステム更新、南中学校の照明LED化及び中部小学校のコンピュータ教室更新を実施した。	給食費無償化の効果検証ができていない。令和9年度までに小中学校5校の照明LED化を行い、省エネを推進する必要がある。GIGAスクール2期をはじめ教育環境ICT化の内容検討及び推進の必要がある。

### (2) 教育内容・活動の充実

昨年度実施結果	課題
愛知教育大学との連携事業やその他の研修事業で外部講師を招き、知・徳・体にわたる「生きる力」を育むため、基礎・基本の習得や思考力・判断力・表現力を大切に授業づくりに取り組んだ。	教員の多忙化の中で、時間をかけて授業づくりに取り組むことが困難になってきている。また、教員に欠員が恒常的に生じており、他校での取組を参観する人的余裕がなくなっている。

### (3) 一人一人を大切に教育の実施

昨年度実施結果	課題
学習面や生活面においてきめ細かな指導ができるように小中学校全ての学年で35人学級を実施した。また、小学校1・2年生30人につき1人教員を配置できるよう市独自の教員加配を行った。	個別の支援が必要な児童生徒への対応の拡充が必要である。

### (4) 家庭・地域との連携強化

昨年度実施結果	課題
令和6(2024)年度より法律に基づく学校運営協議会を10校で設置し、学校経営の目標やビジョンを共有するとともに、地域と連携した学校づくりを推進した。	全ての小中学校に学校運営協議会を設置し、学校と地域・家庭が連携した質の高い教育環境の整備のための体制づくり・人材確保を進める必要がある。

### (5) スクールソーシャルワーカーの配置

昨年度実施結果	課題
スクールソーシャルワーカー2名を教育センター学びの森に配置し、不登校等さまざまな問題を抱える児童生徒に対し、学校、保護者、外部機関と連携した支援を進めた。	不登校児童生徒数は高止まりの状態となっており、不登校児童生徒一人一人の支援をきめ細かに実施するためには、スクールソーシャルワーカーの配置を拡大する必要がある。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

## 3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	子どもたち一人一人をよりきめ細かに指導・支援するために適切な教員の加配及び配置を進めるとともに、いじめや不登校防止のための専門家など必要な人材の配置や、教員の多忙化を解消しながら、より質の高い教育環境の整備を図る。

# 行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	2	心豊かな子どもを育てよう				
取組分野	2	青少年健全育成				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課		学校教育課	生涯学習推進課		

## 1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
青少年健全育成に関する取り組みの市民満足度割合	81.1%	81.9%	85.5%	85%	85%	85%	85%

## 2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

### (1) 地区の青少年健全育成活動への支援

昨年度実施結果	課題
地区青少年健全育成推進協議会等10団体に対し補助金を交付した。	団体の活動が縮小傾向にあり、休会している団体もある。

### (2) 青少年への見守り活動の推進

昨年度実施結果	課題
青少年補導員による地域の補導活動と夏祭り時における特別補導を行い、青少年被害・非行防止に取り組んだ。	限られた補導員の数では補導活動に限界があり、地域と学校が連携するために密な情報交換や、メール配信等の活用により補導員や地域住民に情報提供をすることが必要である。

### (3) こどもの意見を聴く機会の提供

昨年度実施結果	課題
こども会議を3回開催し、こどもの意見を聴取した。	引きこもりや病気、障がいなどの理由により意見を言う場に出られないこどもの意見を集める方法の確立が必要。

### (4) 地域学校協働活動の推進

昨年度実施結果	課題
市内7小学校と4中学校で地域学校協働本部を設置した。	地域学校協働本部を活性化し、活動に参加する地域住民を増やす。

### (5) 放課後こども教室の実施

昨年度実施結果	課題
市内全小学校で実施し、地域の方を講師として招きながら、様々なプログラムを実施した。	1年生から6年生が満足できるプログラム内容の充実を図る必要がある。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

## 3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	地域や学校等と連携し青少年健全育成を推進するとともに、各学校と地域の特性に合わせた地域学校協働活動が推進していくように引き続き支援していく。また放課後こども教室のプログラム内容の充実を図り、こどもたちへ様々な体験学習の場を提供していく。